

第2次安中市総合計画策定のための 市民アンケート調査結果のご報告

新安中市の誕生から10年を経て、本市では現在、新たなまちづくりの指針となる「第2次安中市総合計画」の策定に取り組んでいます。そこで、市民の皆さんのご意見や考えをうかがい、今後の計画策定に反映させていくため、市民アンケート調査を実施しました。以下、調査の結果概要をお知らせします。

- ◆ 調査対象：16歳以上の市民の皆さんから無作為に抽出した4,000人
- ◆ 実施期間：平成28年10月14日～31日
- ◆ 回収率：54.2%（回収数2,169人）

（注）各設問の回答割合（%）は、回答者数（N）を母数としています。回答割合（%）の合計は、端数処理の関係や、回答できる数によって、100.0%にならない場合があります。



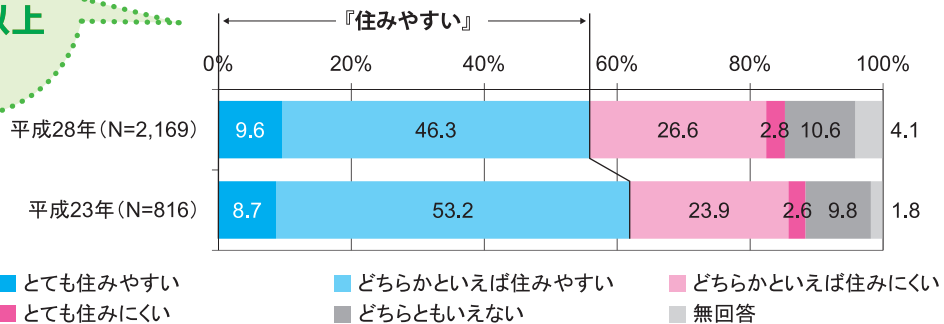
安中市のマスコット「こうめちゃん」

● 現在の住みやすさ

Q あなたにとって、安中市は住みやすいですか。（1つ選択）

「住みやすい」
が5割以上

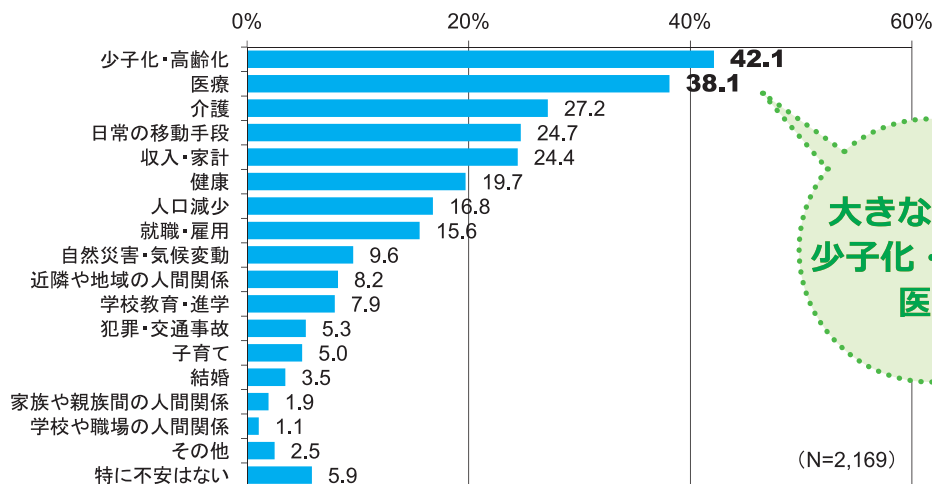
「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』（55.9%）は5割以上となっています。前回調査（平成23年）*と比べると『住みやすい』（前回61.9%）は若干低くなっています。



● 安中市での暮らしの中での不安

Q 安中市での暮らしの中で、不安に感じていることがありますか。（3つまで選択）

「少子化・高齢化」（42.1%）、「医療」（38.1%）の2項目が特に高く、次いで「介護」（27.2%）となっています。少子化・高齢化という大きな不安の中で、「医療」「介護」が安心して受けられ、暮らし続けられる環境づくりが求められていると考えられます。



大きな不安は
少子化・高齢化
医療

* 前回調査（平成23年12月実施・調査対象2,000人／回答者数N=816人）と比較できる設問のみ、前回調査の結果をあわせて表示しています。なお、設問によっては、選択肢の表現が前回調査と異なる場合がありますが、同様の意味とみなして扱っています。

● まちづくり施策の重要度・満足度

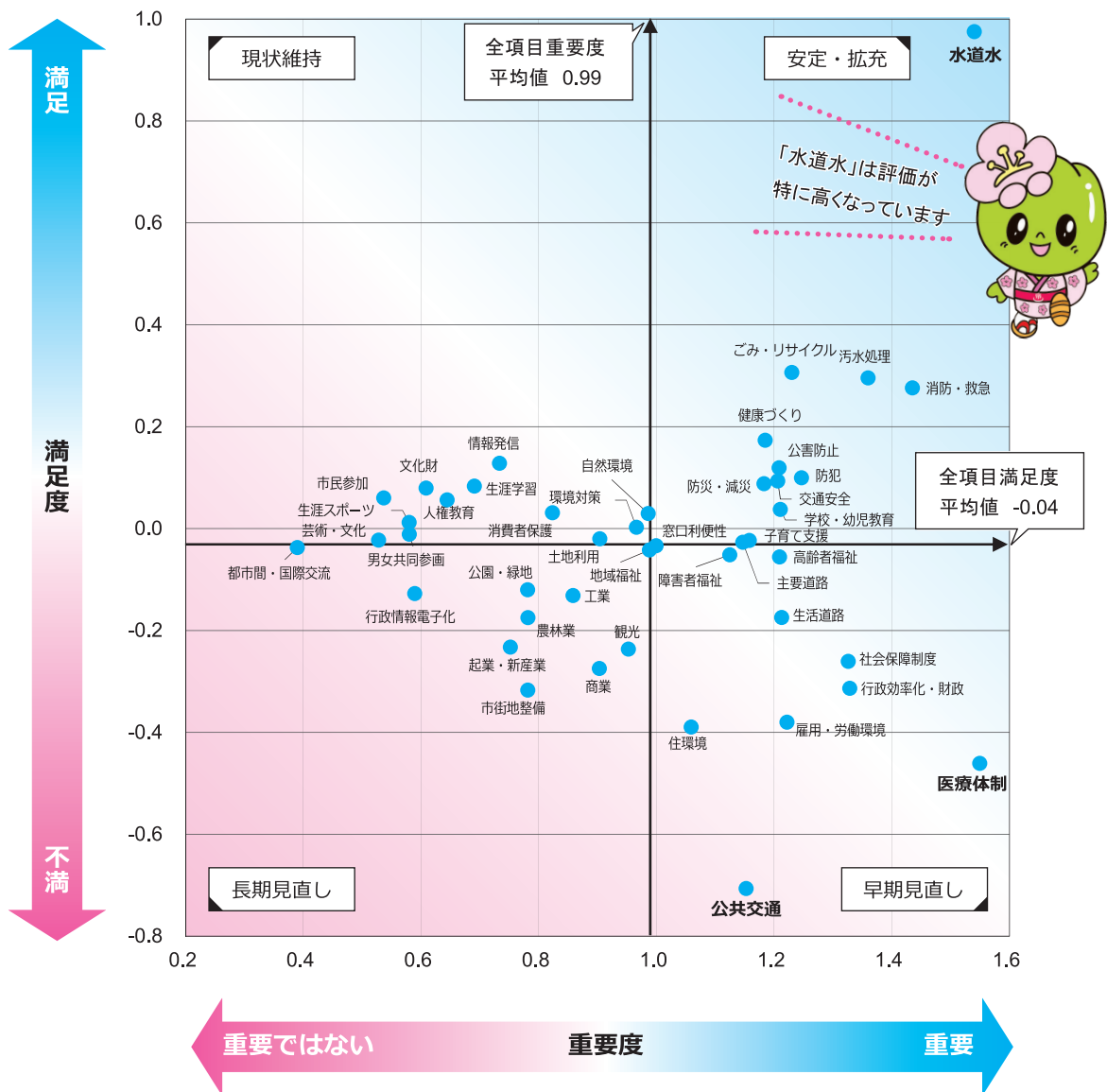
Q 安中市が現在取り組んでいるまちづくりの施策について、重要度・満足度をうかがいます。
(各施策の重要度・満足度について、5段階の番号をそれぞれ1つ選択)

行政施策44項目について、重要度・満足度についてそれぞれ5段階(2点・1点・0点・-1点・-2点)で評価点*を求めました。これによると、重要度が高い一方で、満足度が低いことから、緊急性が高いと考えられる『早期見直し』施策として、「医療体制」「公共交通」などがあげられます。

これと対照的に、重要度・満足度がともに高いことから、方向性や成果が市民のニーズに合っていると考えられる『安定・拡充』施策として、「水道水」などがあげられます。

緊急性が高い
のは医療体制
と公共交通

このほか、重要度が低い一方、満足度が高い『現状維持』施策や、重要度・満足度がともに低い『長期見直し』施策については、市民の皆さんへの施策の必要性の周知や説明、認識の共有や情報提供などに努める必要があると考えられます。

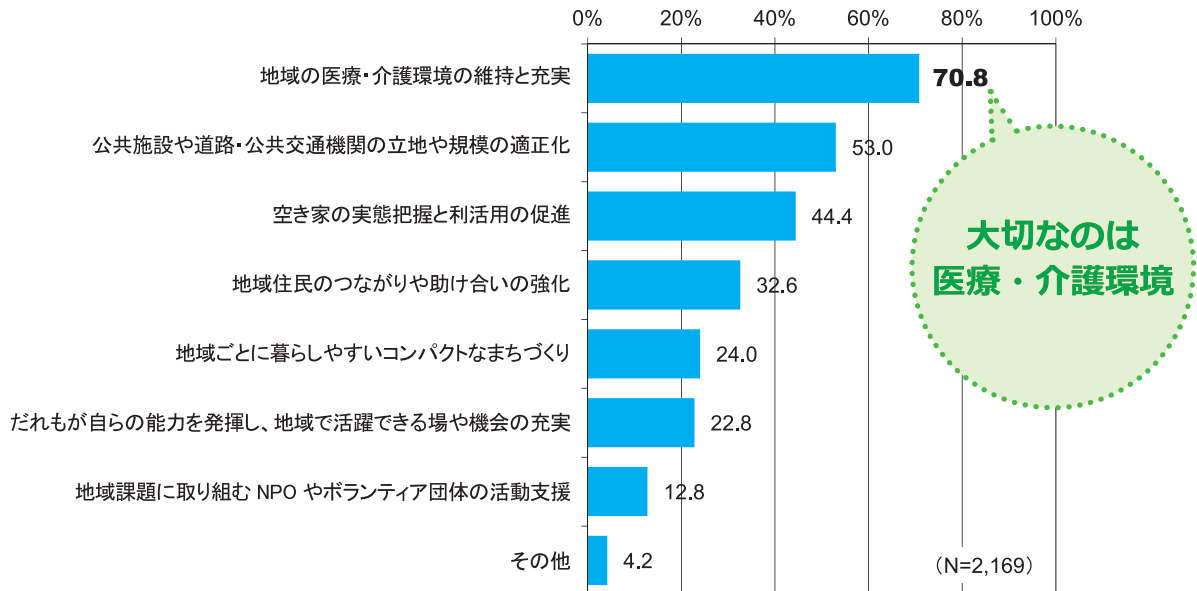


* 評価点：重要度は「重要」「やや重要」「どちらともいえない」「あまり重要ではない」「重要ではない」、満足度は「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値(加重平均値)。値が大きいかほど重要度や満足度が高いと考えられます。

● 人口減少社会に対応したまちづくりのために

Q 今後、人口減少や少子化、高齢化が進行する中で安中市のまちづくりについて、特にどのようなことが大切だと思いますか。（3つまで選択）

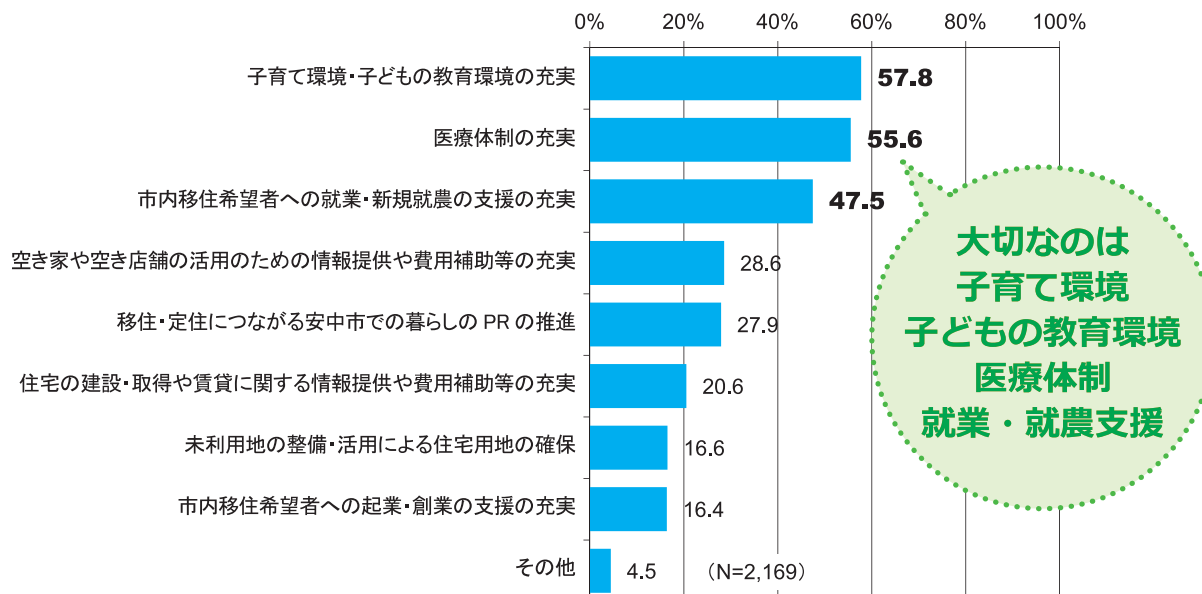
「地域の医療・介護環境の維持と充実」（70.8%）が7割以上で最も高くなっています。



● 移住・定住を促進するために

Q 安中市に移住・定住する人を増やすために、特にどのようなことが大切だと思いますか。（3つまで選択）

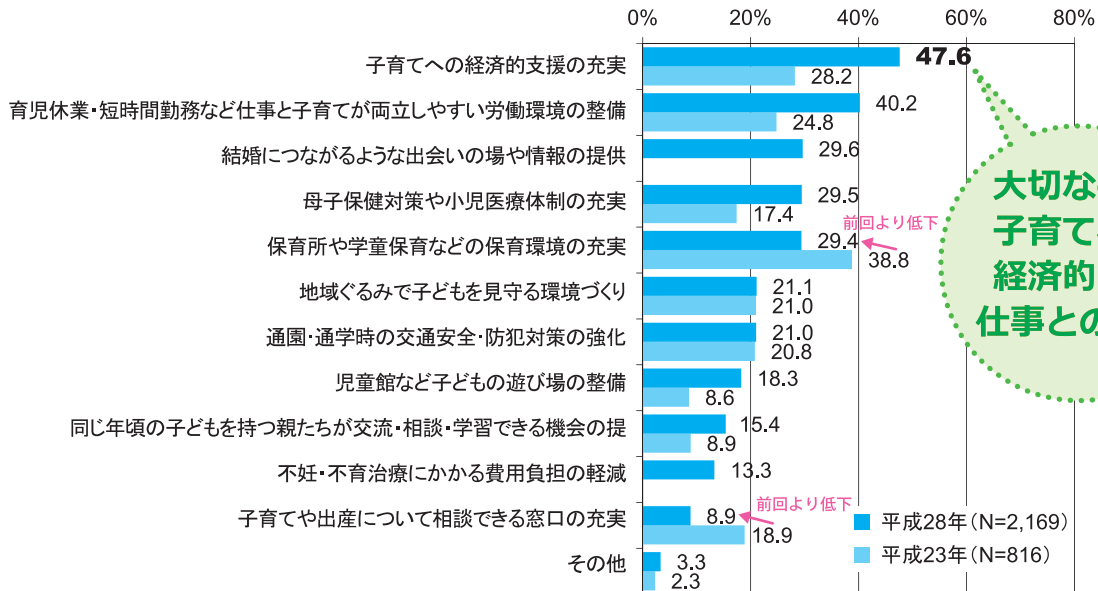
「子育て環境・子どもの教育環境の充実」（57.8%）、「医療体制の充実」（55.6%）の2項目が5割以上、次いで「市内移住希望者への就業・新規就農の支援の充実」（47.5%）が約5割となっています。



● 結婚・出産・子育てがしやすいまちにするために

Q 結婚・出産・子育てがしやすいまちにするために、特にどのようなことが大切だと思いますか。(3つまで選択)

「子育てへの経済的支援の充実」(47.6%)が約5割で最も高くなっています。前回調査と比べると「保育所や学童保育などの保育環境の充実」(今回29.4%、前回38.8%)、「子育てや出産について相談できる窓口の充実」(今回8.9%、前回18.9%)は低くなっています。



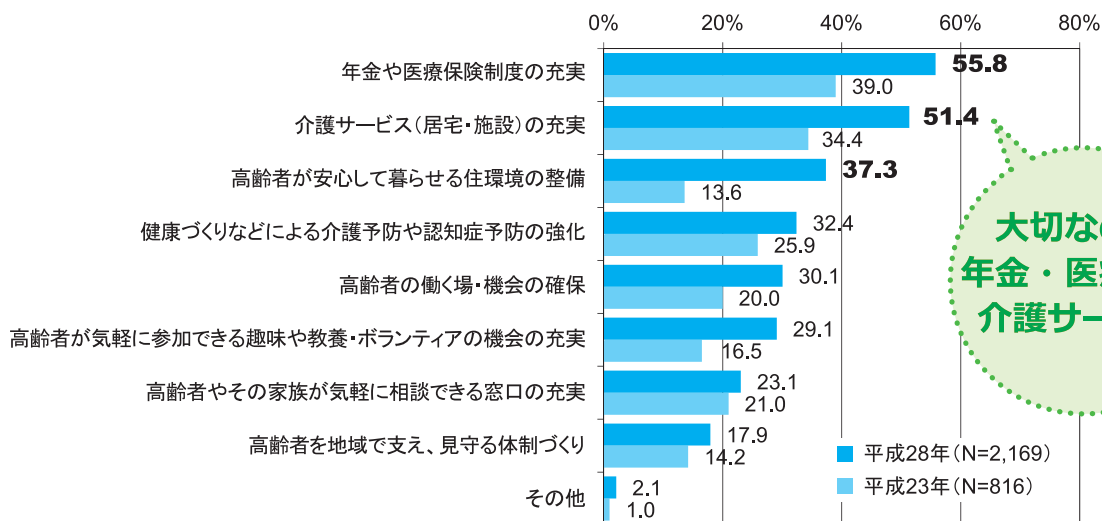
大切なのは
子育てへの
経済的支援
仕事との両立

※前回調査では2つまで選択する設問。「結婚につながるような出会いの場や情報の提供」「不妊・不育治療にかかる費用負担の軽減」は新規項目。

● 高齢者が安心して暮らせるまちにするために

Q 高齢者が安心して、いきいきと暮らせるまちにするために、特にどのようなことが大切だと思いますか。(3つまで選択)

「年金や医療保険制度の充実」(55.8%)、「介護サービス(居宅・施設)の充実」(51.4%)の2項目が5割以上、次いで「高齢者が安心して暮らせる住環境の整備」(37.3%)が約4割となっています。前回調査と比べるとすべての項目が高くなっています。



大切なのは
年金・医療保険
介護サービス

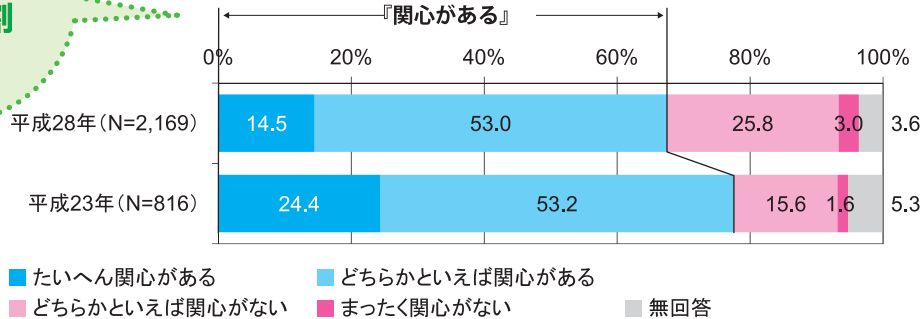
※前回調査では2つまで選択する設問。

● まちづくりへの関心

Q あなたは、安中市のまちづくりに関心がありますか。（1つ選択）

「関心がある」が約7割

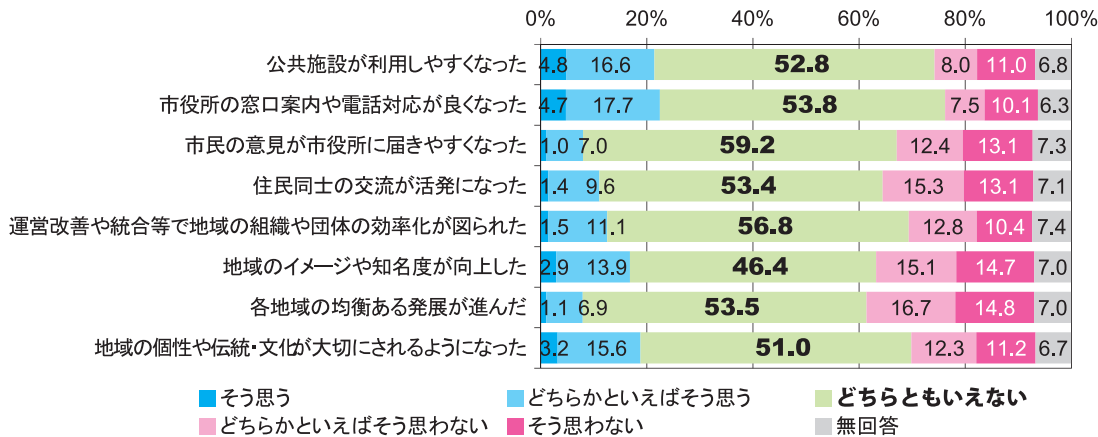
「たいへん関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた『関心がある』(67.5%)は約7割となっています。前回調査(平成23年)と比べると『関心がある』(前回77.6%)は低くなっています。



● 合併前と比べた現在の安中市

Q あなたは、合併前と比べて、現在の安中市についてどう思いますか。（それぞれ1つ選択）

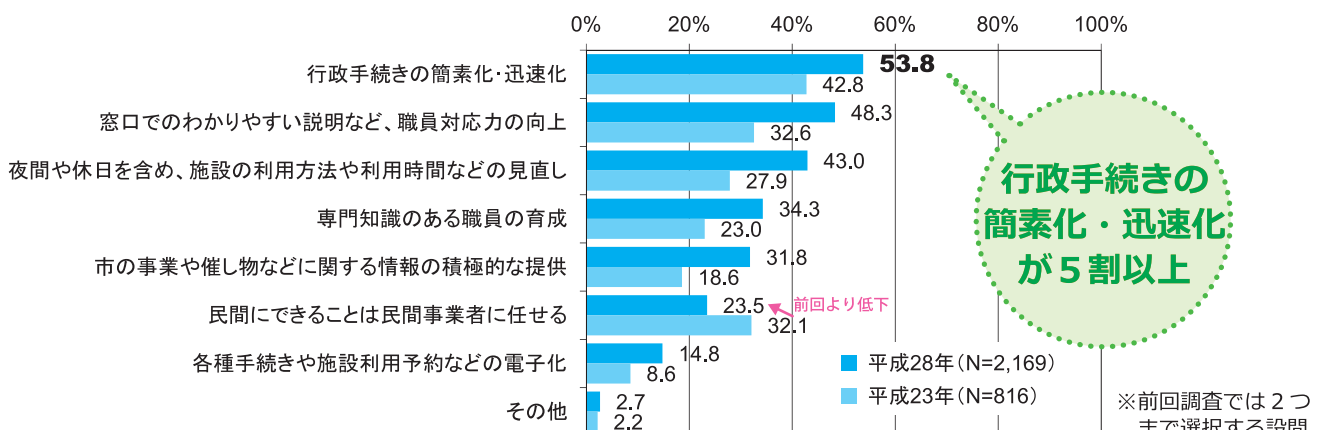
すべての項目で「どちらともいえない」が最も高くなっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると「公共施設が利用しやすくなった」(21.4%)、「市役所の窓口案内や電話対応が良くなった」(22.4%)は2割以上で比較的高い一方、「市民の意見が市役所に届きやすくなった」(8.0%)、「各地域の均衡ある発展が進んだ」(8.0%)は1割未満となっています。



● 行政サービスの質向上のために

Q 行財政改革を進め、行政サービスの質を向上していくために、安中市は特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで選択）

「行政手続きの簡素化・迅速化」(53.8%)が5割以上で最も高くなっています。前回調査と比べると「民間にできることは民間事業者任せ」を除くすべての項目が高くなっています。



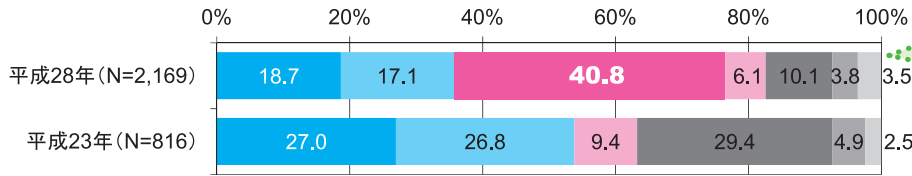
行政手続きの簡素化・迅速化が5割以上

※前回調査では2つまで選択する設問。

● 人口減少社会における公共サービスのあり方

Q 今後、人口減少や少子化、高齢化の進行に伴う税収の減少により、現在の公共サービス水準の維持が難しくなった場合、公共サービスのあり方についてどのように考えますか。（1つ選択）

新規項目「税負担は増やさず、民間活力や市民の力を活用してサービスを維持・充実すべき」（40.8%）が4割以上で最も高くなっています。



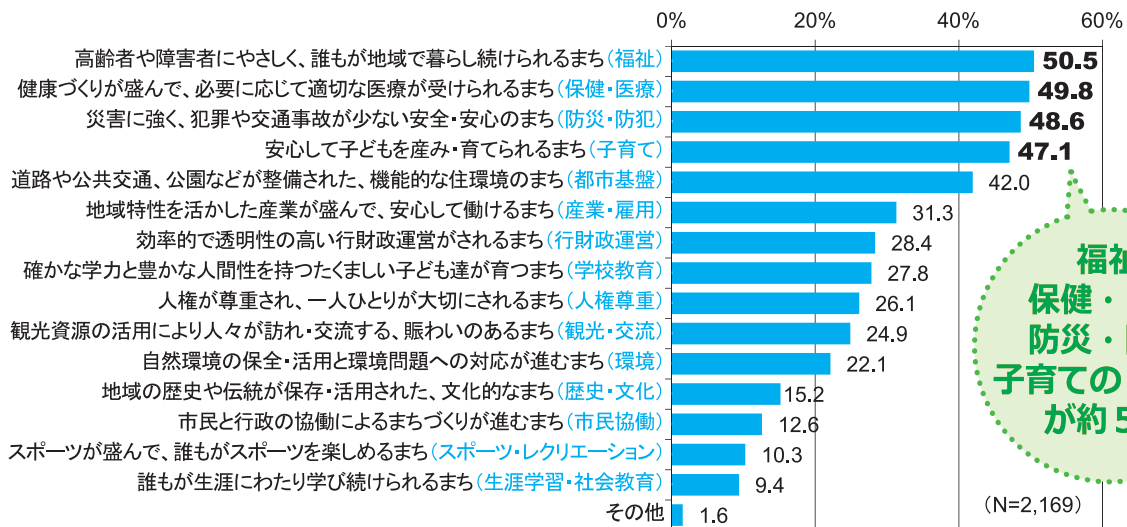
「税負担は増やさず
民間活力・市民の力を
活用して維持・充実」
が4割以上

- 税負担は増やさず、それによって縮小されるサービスがあってもやむを得ない
- 税負担は増やさず、利用者自身が負担してサービスを維持・充実すべき
- 税負担は増やさず、民間活力や市民の力を活用してサービスを維持・充実すべき
- 税負担を増やしても、サービスを維持・充実すべき
- わからない
- その他
- 無回答

● 安中市の10年後の姿

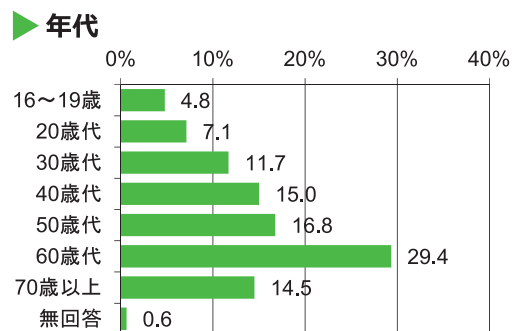
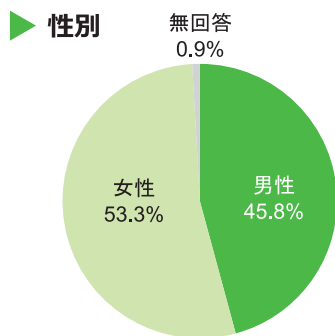
Q 10年後の安中市は、どのようなまちであってほしいと思いますか。（5つまで選択）

「高齢者や障害者にやさしく、誰もが地域で暮らし続けられるまち（福祉）」（50.5%）、「健康づくりが盛んで、必要に応じて適切な医療が受けられるまち（保健・医療）」（49.8%）、「災害に強く、犯罪や交通事故が少ない安全・安心のまち（防災・防犯）」（48.6%）、「安心して子どもを産み・育てられるまち（子育て）」（47.1%）の4項目が約5割で同程度に高くなっています。



福祉
保健・医療
防災・防犯
子育ての4項目
が約5割

● 回答いただいた方の内訳



アンケートへの協力
ありがとうございました

これらの調査結果を、計画策定に反映させます。

